

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年5月6日(水) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

5月5日(火)～6日(水)

- 6日(水) 15時現在、州内感染者数は前日比3800人増(+11%)の3万7853人、うちサンパウロ市が2万3187人、オザスコ市が1040人と続く。州内死者数は同194人増(+7%)の3045人で、うちサンパウロ市が1910人。全体の致死率は8%。60歳以上の死者は全体の73.5%。感染が確認されたのは州内645市のうち371市(前日344市)、死者は160市(同158市)。入院感染患者数は約9500人(同9300人)。州内公立病院のICU占有率は5日(火)時点で67.2%(前日68.9%)、サンパウロ大都市圏内は同86.6%(前日86.9%)。
- 6日(水)、サンパウロ州政府は、州内のコロナウイルスによる死者数が3千人を超えたことを受け、州内全域でコロナウイルスの犠牲者を追悼する公式服喪を実施すると発表。7日(木)付官報に告示され、服喪はパンデミック収束まで継続。期間中、州内全ての公的機関・教育施設にて半旗が掲げられる。
- 6日(水)、サンパウロ州政府は、州内589の高齢者施設(入居者数は計1万9200人)に対し300万リアルを供与すると発表。同資金は、衛生用品、清掃用品、簡易検査キットの購入に充当される。
- 6日(水)、サンパウロ州政府は、民警主導の下、サンパウロ市中心部の路上生活者に身分証を発行する取り組みを実施すると発表。路上生活者が連邦政府の緊急支援金を受給出来るようにすることが目的。
- 6日(水)付官報に告示されたサンパウロ市条例は、市内の公共スペース及び商業施設等におけるマスク着用を義務化。商業施設等ではマスク着用が顧客入店時の条件となる。また、商業施設等は70%のアルコール・ジェルを店内の分かり易く、アクセスし易い場所に設置する必要がある。
- 上記の市条例では、市内私立病院に対する空き病床の利用要請も規定。同市は既に赤十字病院及びセント・アマーロ大学病院との間で病床提供に関する協定を締結。その他の市内私立病院とも協議が進行中。また、60歳以上の路上生活者及び家庭内暴力の被害女性を保護すべく宿泊施設の空室借り上げも規定。
- 5日(火)のサンパウロ州の社会的隔離実施率は47%(前日同)、サンパウロ市の同実施率は48%(前日同)。外出自粛措置(クアレンテーナ)の緩和にあたり、州政府は50%以上の実施率が不可欠と表明しており、ここ数日の数値は「黄信号」。

2 マット・グロソ州

5月3日(日)～6日(水)

- 6日(水) 18時現在、州内感染者数は前日比19人増の385人、うち州都クイアバ市が155人、ロンドノーポリス市が50人と続く。入院患者数は30人。州内死者数は前日同様13人。統一医療保健システム(SUS)に参加する州内病院におけるコロナウイルス感染患者向けのICU病床の空きは94床(占有率9.6%)、一般病床は394床(同2.2%)。
- 3日(日)、クイアバ市長は4日(月)より経済活動の段階的再開第2フェーズを実施と発表。一例として公共交通機関の運行本数を最大70%に戻す一方、各車両の乗客(マスク着用義務)は50%に制限する。

3 マット・グロソ・ド・スル州

5月2日(土)～6日(水)

- 6日(水) 午前11時現在、州内感染者数は前日比5人増の288人、うち州都カンポ・グランデ市が143人。州内死者数は前日同様10人。
- 2日(土)、同州政府は今後、カンポ・グランデ市等州内のドライブスルー形式の検査数を増やすと発表。
- 2日(土)、同州政府は本年第一四半期(1-3月期)に州都カンポ・グランデ市で発生した交通事故が、前年同期比34%減の2163件になったと発表。外出自粛措置の効果によるもの。(了)